祝　辞



内閣官房長官　木原　稔

「先進建設・防災・減災技術フェアin熊本2026」が、本年も盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

はじめに、本年発生した令和8年熊本地震により、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。政府といたしましては、関係省庁が一体となり、被災された皆様や地域に寄り添いながら、一日も早い復旧・復興に向けて全力を尽くしてまいります。

本フェアは、平成28年熊本地震からの創造的復興に資する展示会として始まり、産学官の英知を結集する場として発展を続けてまいりました。本年は、平成28年熊本地震から10年という大きな節目の年に当たります。この間､熊本の皆様の御努力と関係各位の御尽力により、復興は着実に前進してまいりました。その歩みは、無人化施工やデジタル技術をはじめとする先進技術にも支えられており、これまでの道のりに深く思いを致すとともに、復興に携わられた全ての皆様に改めて敬意を表します。

また、本年は、令和8年8月千葉豪雨など、記録的な大雨による大規模な冠水や土砂災害等の甚大な被害も発生しています。激甚化・頻発化する自然災害から国民の生命と暮らしを守るためには、防災・減災、国土強靱化の取組を進め、災害に強い地域づくりを実現していくことが不可欠です。我が国の優れた建設・防災技術は、こういった取組の重要な基盤としての役割を担っています。

本フェアが、先進技術や知見の共有を通じて、災害に強い地域づくりの実現に貢献する実り多い機会となりますことを期待しております。

結びに、本フェアの開催に御尽力された関係者の皆様に深く敬意を表するとともに、御来場の皆様の御健勝を祈念し、私の御挨拶といたします。

令和８年（2026年）11月吉日